

月例経済報告（2024年3月）

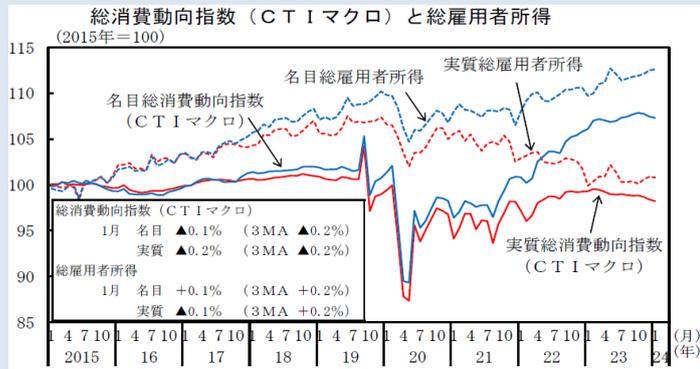
● 月例経済報告（3/22）

基調判断 (3月) 景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

(2月) 景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

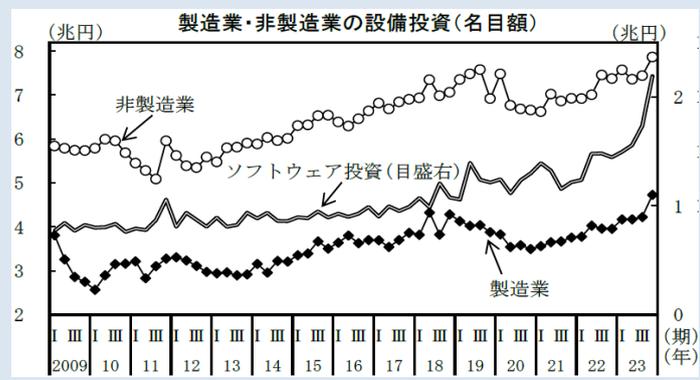
個人消費 (3月) 持ち直しに足踏みがみられる。

(2月) 持ち直しに足踏みがみられる。



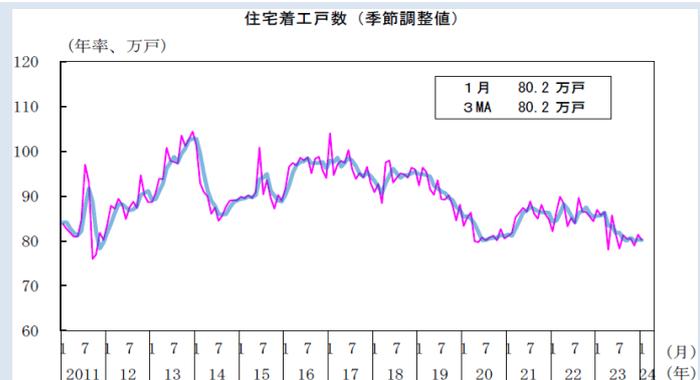
設備投資 (3月) 持ち直しの動きがみられる。

(2月) 持ち直しに足踏みがみられる。



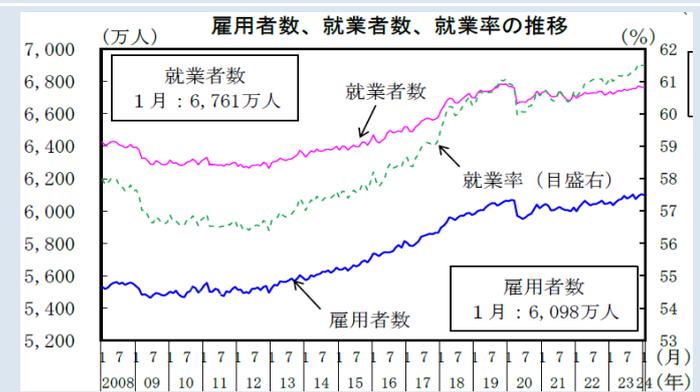
住宅建設 (3月) 弱含んでいる。

(2月) 弱含んでいる。



雇用情勢 (3月) 改善の動きがみられる。

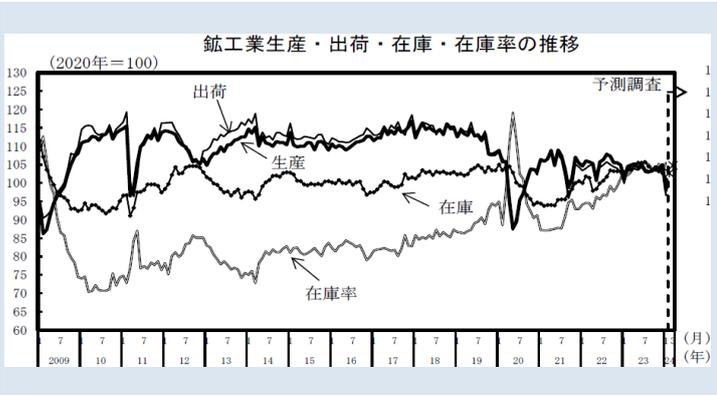
(2月) 改善の動きがみられる。



生産

(3月) 持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している。

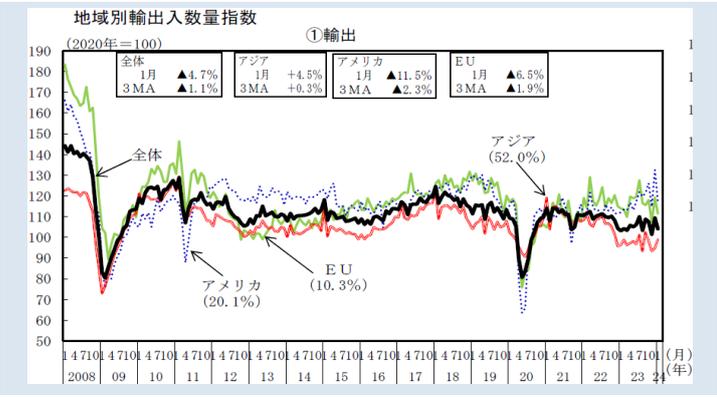
(2月) 持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している。



輸出

(3月) 持ち直しの動きに足踏みがみられる。

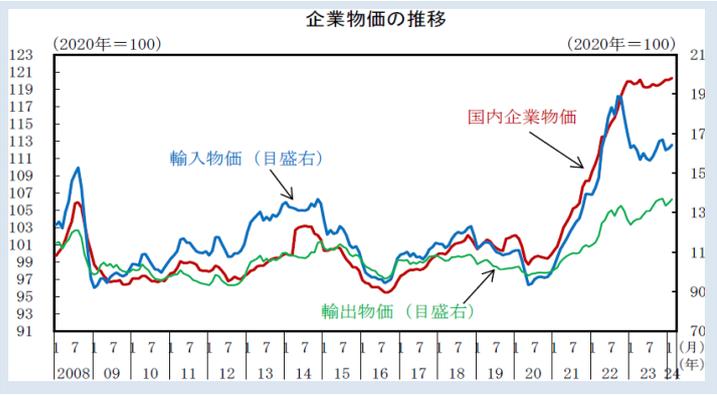
(2月) このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。



国内企業物価

(3月) 横ばいとなっている。

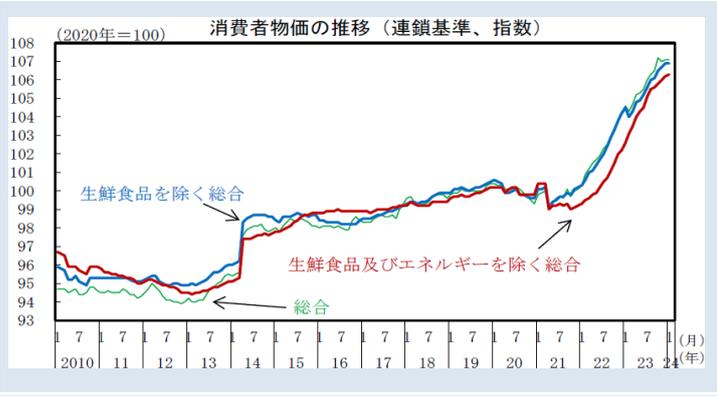
(2月) 横ばいとなっている。



消費者物価

(3月) 緩やかに上昇している。

(2月) このところ緩やかに上昇している。



海外経済

(3月) 世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響による下振れリスクに留意する必要がある。また、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。

(2月) 世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している。先行きについては、持ち直しが続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めや中国における不動産市場の停滞に伴う影響による下振れリスクに留意する必要がある。また、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動の影響を注視する必要がある。

[月例経済報告：内閣府](#)